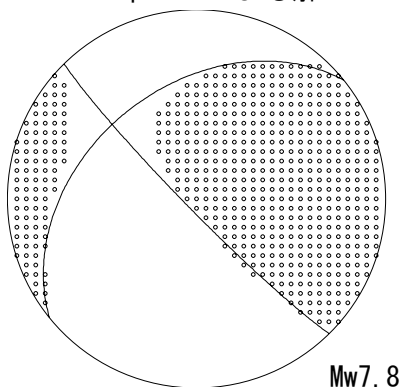


9月24日 パキスタンの地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

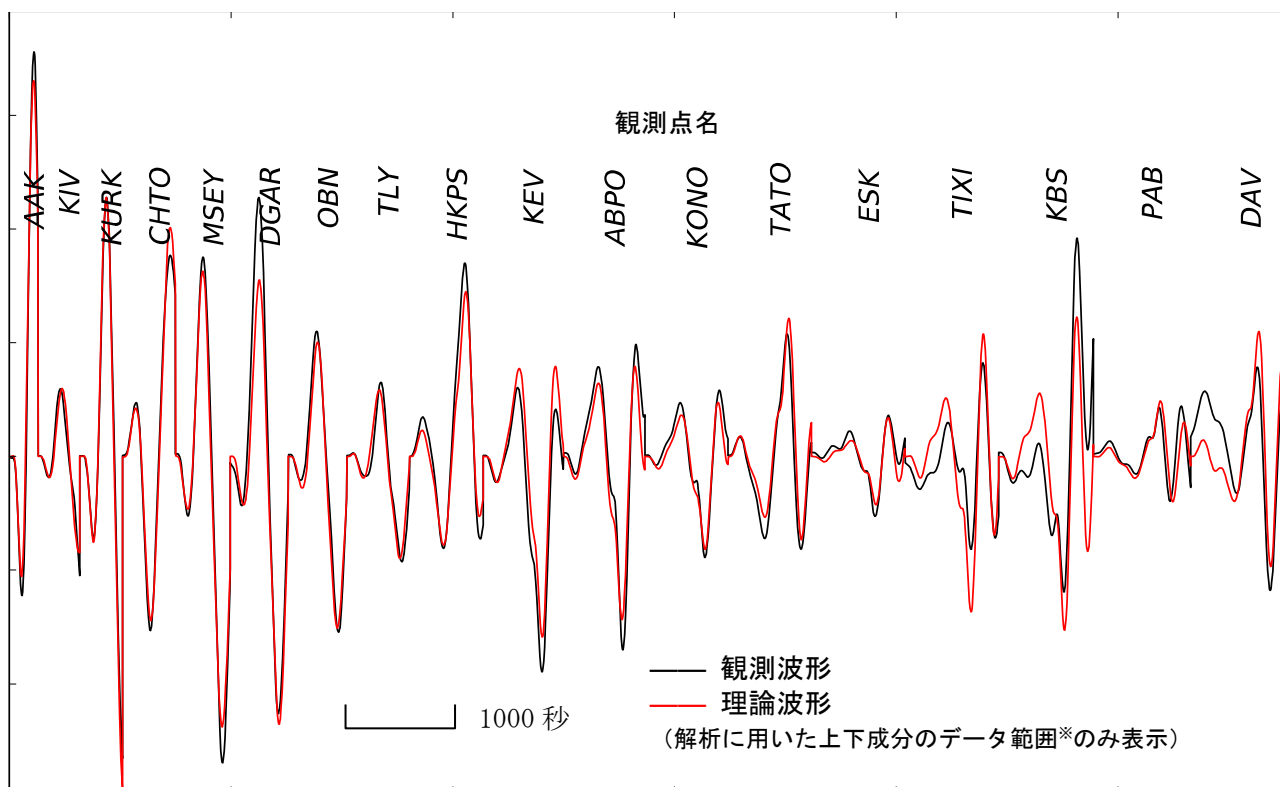
W-phase による解



2013年9月24日20時29分(日本時間)にパキスタンで発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、Mwとも、Global CMT などの他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mwは7.8であった。なお、W-phase の解析で求めた震源はN26.8°, E65.0°, 深さ14kmとなった。

W-phase の解析では、震央距離10°~90°までの18観測点の上下成分、3観測点の南北成分、1観測点の東西成分を用い、200~1000秒のフィルターを使用した。

注) W-phase とはP波からS波付近までの長周期の実体波を指す。



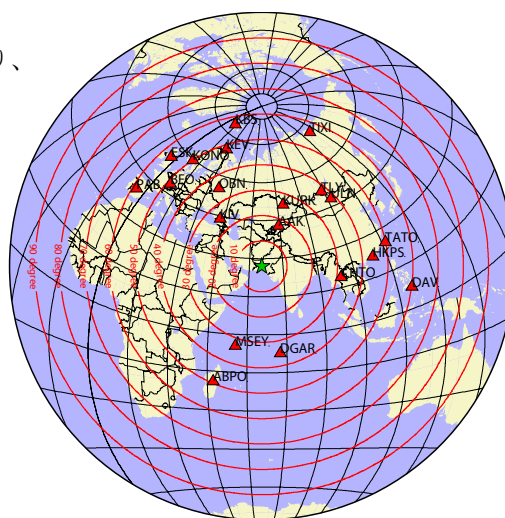
※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離(度)としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

(W-phase に関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera (2008): Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

解析データには IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。

また、解析に使用したプログラムは金森博士に頂いたものを使用した。記して感謝する。



解析に使用した観測点配置

気象庁作成